

【9月19日(土)】同志社女子大学公開講座 第37期 町家講座
京町家で学ぶ歴史と文化
京の町家で紡ぐ、音の物語-ヘルマンハープとともにを開催

同志社女子大学（所在地：京都府京田辺市・京都市 学長：川崎 清史）では、各界より講師の先生をお招きし、情緒ある京都の風景を醸し出す“京まちや平安宮”（京都市上京区）にて、公開講座「町家講座」を開講しています。講師には、主に学外からテーマに沿った専門家の方々をお招きし、講座は歴史や文化のテーマなど多岐にわたります。2026年度第3回は梶原 千沙都 氏(日本ヘルマンハープ振興会 会長)による講演を行います。

【テ ー マ】京の町家で紡ぐ、音の物語-ヘルマンハープとともに

【詳 細】https://www.dwc.doshisha.ac.jp/faculty_dep_info/social/system/topics/37

【講 師】梶原 千沙都 氏(日本ヘルマンハープ振興会 会長)

【日 時】2026年9月19日(土) 14:00～16:00

【実施方法】対面

【場 所】京まちや平安宮（京都市上京区下立売通智恵光院西入）

【対 象】在学生、卒業生、一般

【受 講 料】無料（事前申込制・受付終了）

【講師プロフィール】

梶原 千沙都（かじわら ちさと） 日本ヘルマンハープ振興会 会長

詳細はこちら

本講座の申込は
終了しています



日本ヘルマンハープ振興会会長。奈良女子大学卒業。2003年、日本人として初めてドイツ生まれのバリアフリーな弦楽器「ヘルマンハープ」に出会う。以来、日本への普及・啓発に尽力し、誰もが演奏に参加し音楽を楽しめる社会を目指して活動している。全国で演奏会や講習会、指導者育成を行い、ヘルマンハープ教室は約100か所におよぶ。2012年、世界初の奏法指導書『ヘルマンハープの奏法〈基礎編〉』を音楽之友社から出版。奏者としてソロステージを確立し、日本とドイツで演奏活動を展開。2005年大阪・関西万博ではヘルマンハープ・スペシャルコンサートをプロデュースし、国内外に大きな感動を与えた。

【問い合わせ先】同志社女子大学 現代社会学部事務室

E-mail:machiya-gensha@dwc.doshisha.ac.jp

TEL:0774-65-8543

メディア関連の方へ

取材をご希望の方は、お手数ですが下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

同志社女子大学広報課長 川添 麻衣子

TEL:0774-65-8631 FAX:0774-65-8632

E-mail:koho-t@dwc.doshisha.ac.jp